

病院広報では、病・病、病・診のより良い連携を願って、当院と縁の深い先生方から種々のご意見をいただいて連載しています。

シリーズ72回目の今回は、社会医療法人 緑社会 金田病院 金田 道弘 理事長にお願いいたしました。

社会医療法人 緑社会 金田病院

1. 川崎医科大学附属高校（第1期生）

昭和45年4月、私は川崎医科大学附属高校第1期生として入学しました。約2週間後が川崎医科大学第1回入学式でした。川崎学園の歴史は附属高校から始まったこととなります。開学当初の1年間は大学の1期生と附属高校の1期生は、同じ現在の医療短期大学の寮に住み、同じ校舎で学びました。2年生からは生坂に移転しました。

1年生の時、伍賀（ごか）先生という見かけは怖そうだが実に人間味のある素晴らしい年配の舎監の先生がおられました。寮での日課は自分たちが使うトイレの掃除。辛いと思えることの中にこそ価値が隠されていることが身をもって学べたのは一生の財産です。附属高校の3年間は今までの私の人生で最も楽しい3年間でした。

2. 川崎医科大学（第4期生）

川崎医科大学の6年間に私が最も影響を受けたのは、本年5月に亡くなられた前川崎医科大学学長の植木宏明先生（当時は皮膚科学教授）

でした。悩んだ時にはご自宅にお邪魔しました。どこまでも誠実で探究心旺盛な先生と奥様の絢子先生の優しさのハーモニーに、感性豊かな金田青年は強く憧れたと同時に、学ぶことの楽しさを初めて知りました。

先日の植木前学長を偲ぶ会において約30年ぶりに絢子先生にお目にかかった際には、お悔やみや感謝の想いが言葉にならず、先生の手を握った瞬間万感極まり、不覚にも熱いものが溢れ出てしまいました。（注：尿ではありません）

3. 金田病院のご紹介

社会医療法人緑社会 金田病院は、おかげさまで本年7月創立65年目を迎えました。理事長は30年目です。2年前には、前岡山大学総合内科学水島孝明准教授を病院長に迎えました。現在常勤医師は12名、その内川崎医科大学出身者が私を含め4名。常勤医師の標榜科は、内科（循環器内科を含む）、外科、脳神経外科、整形外科の4科、真庭保健医療圏で唯一のDPC対象病院・地域がん診療病院です。附属病院

から常勤・非常勤医師の派遣を頂いており深く感謝申し上げます。

協力型研修病院として、川崎医科大学附属病院をはじめ7つの基幹型研修病院から1か月単位で本年度27名の地域医療研修医師を受け入れています。医学部学生の地域医療実習は、川崎医科大学と岡山大学医学部から計約20名の医学生を1週間単位で受け入れています。どの学生も優秀で社会人としての教育も行き届いていていつも感心させられます。

4. 謝辞

医師の派遣と共に、多発外傷等の重症救急患者を24時間快く受け入れてくださることは何にもましてありがたいと、全ての病院スタッフの皆さまに心より深く感謝申し上げます。貴院の益々のご発展をお祈り申し上げます。

川崎学園第1期生としての私の責任を、地域医療を通じて全うするため一層精進いたします。



理事長

金田 道弘 先生

社会医療法人 緑社会 金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL:0867-52-1191 FAX:0867-52-1917
<http://www.kaneda-hp.com/index.html>

